



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日  
東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所  
コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光

取締役 経営管理部/事  
問合せ先責任者 (役職名) 業統括部管掌 上席執(氏名) 鷲本 晴吾 (TEL) 03-5733-2121  
行役員

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

|             | 売上高   |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
|             | 百万円   | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 27年9月期第3四半期 | 3,445 | 25.0 | △281 | — | △100 | — | △87    | — |
| 26年9月期第3四半期 | 2,756 | —    | 663  | — | 709  | — | 861    | — |

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △139百万円(—%) 26年9月期第3四半期 866百万円(—%)

|             | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
|             | 円 銭             | 円 銭                        |
| 27年9月期第3四半期 | △0.59           | —                          |
| 26年9月期第3四半期 | 6.69            | 6.65                       |

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

|             | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
|             | 百万円   | 百万円   | %      |
| 27年9月期第3四半期 | 9,601 | 6,289 | 64.7   |
| 26年9月期      | 7,452 | 5,534 | 73.9   |

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 6,211百万円 26年9月期 5,507百万円

2. 配当の状況

|            | 年間配当金  |        |        |      |      |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
|            | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|            | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 26年9月期     | —      | 0.00   | —      | 0.50 | 0.50 |
| 27年9月期     | —      | 0.00   | —      | —    | —    |
| 27年9月期(予想) | —      | —      | —      | 0.60 | 0.60 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高   |      | 営業利益  |       | 経常利益  |      | 当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|----------------|
|    | 百万円   | %    | 百万円   | %     | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 円 銭            |
| 通期 | 7,000 | 79.0 | 1,250 | 125.0 | 1,200 | 75.2 | 1,100 | 19.1 | 7.24           |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

|                      |          |              |          |              |
|----------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 27年9月期3Q | 154,505,600株 | 26年9月期   | 147,196,800株 |
| ② 期末自己株式数            | 27年9月期3Q | 一株           | 26年9月期   | 一株           |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計)    | 27年9月期3Q | 148,642,701株 | 26年9月期3Q | 128,755,121株 |

(注) 当社は、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2  |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2  |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 4  |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 4  |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....        | 5  |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....  | 5  |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....  | 5  |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ..... | 5  |
| 3. 四半期連結財務諸表 .....                 | 6  |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 6  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 8  |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 10 |
| (セグメント情報等) .....                   | 11 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策により企業収益や雇用・所得環境が改善する中で、消費税増税による個人消費への影響や一部の海外経済の減速懸念の影響等、先行きは不透明な状況が続くものの、景気は緩やかな回復を続けております。

このような経済環境において当社グループは、企業を支援するプライベート型投資銀行として投資銀行業務と企業投資を中心に事業を展開し、企業のニーズに応える様々なソリューションを提供して成長をサポートするとともに、地域産業の振興・支援にも積極的に取り組みました。投資銀行業務においては、太陽光発電事業のアレンジメント業務や中小水力発電事業のアレンジメント業務を受託するなど、再生可能エネルギー関連の案件が前年同期比で大幅に増加いたしました。太陽光発電事業のアレンジメント業務受託については、第2四半期連結会計期間までは好調に推移しましたが、当第3四半期連結会計期間に入ってから固定価格買取制度による電気の買取価格引下げが続くという環境のもと、残された優良なプロジェクトの獲得競争に備え、当社グループが優良プロジェクトを確保する施策を最優先で推進しました。これにより、当第3四半期連結会計期間のアレンジメント業務受託は減少したものの、現時点で10件程度の中型の太陽光発電プロジェクトを確保できる見込みがつかしました。企業投資においては、平成18年から出資を継続しているFinTech GIMV Fund, L.P. (IT・バイオ関連の企業へ投資するベンチャーキャピタルファンド、以下「FGF」といいます。)については、同ファンドで減損した投資先もあり営業投資有価証券評価損を計上しましたが、同ファンドが出資してきたライフサイエンス・プロジェクトがエグジット（投資回収）に至り、当社は平成27年6月にFGF出資持分に係る分配金5.8百万米ドルを受領しました。当社は四半期毎に交付されるFGFの決算書に基づき損益を計上するため、このエグジットを反映した決算書受領による当社の損益計上は、平成27年9月期第4四半期となる予定です。

また当社は、ムーミンの世界を体験できる施設を開設すべく、平成27年6月30日に西武鉄道㈱（本社：埼玉県所沢市）と埼玉県飯能市に所在する宮沢湖周辺の不動産の売買契約を締結しました。さらに、同日付で地元自治体である飯能市と「地方創生に関する基本協定」を締結し、ムーミンの世界を体験できる施設の開設や飯能市の観光振興等に関して、連携協力していくこととしました。

なお当社は成長を更に加速させるべく、平成27年3月20日開催の取締役会で第14回新株予約権（第三者割当て）の発行を決議し平成27年4月7日に発行いたしました。当第3四半期連結会計期間後の平成27年8月4日に権利行使が完了し、総額で2,392百万円を調達いたしました。

以上のとおり、投資銀行事業において、太陽光発電事業の優良プロジェクトの確保を最優先し第4四半期以降の売上計上を企図したため、当第3四半期連結会計期間の売上は伸び悩んだものの、第2四半期まではアレンジメント業務受託が前年同期比で大幅に増加したことや、不動産事業における連結子会社5社については前第3四半期から損益計算書を連結していることから、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で25.0%増加して3,445百万円となりました。売上原価については、主に不動産事業における不動産販売原価により2,066百万円となり、売上総利益は1,379百万円（前年同期比30.5%減）となりました。販売費及び一般管理費については、前第3四半期連結累計期間に計上した仲裁関連費用がなくなったことにより支払手数料が減少したものの、子会社の増加及び人員増強により人件費や地代家賃、不動産事業の広告宣伝費が増加し1,660百万円（前年同期比25.7%増）となった結果、営業損益は281百万円の営業損失（前年同期は663百万円の利益）となりました。経常損失は為替差益166百万円を計上したことで100百万円（前年同期は709百万円の利益）となり、四半期純損失は87百万円（前年同期は861百万円の利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ① 投資銀行事業

投資銀行業務においては、再生可能エネルギー関連等のアレンジメント業務受託において、有力なEPC事業者（設計-engineering、機器調達-procurement、建設-constructionを含むプロジェクト事業者）との協働や発電所開発資金の貸付により、優良な案件を確保し、発電事業者により良い投資機会を提供しました。また、水力発電事業の投資家招聘に係る投資アレンジメントによる収益を計上しました。主なアレンジメント業務の対象である太陽光発電事業については、グリーン投資減税により即時償却できる太陽光発電設備の取得期間が平成27年3月末に終了したことや、固定価格買取制度における電気の買取価格引下げがあったものの、引下げ前の買取価格が対象となる発電所への事業者の投資ニーズは依然として高い水準にあります。グリーン投資減税に代わる生産性

向上設備投資促進税制の適用や、円安による海外投資家からの投資により、太陽光発電事業への投資ニーズは今後も高いと推察されます。このような環境において当社グループは優良プロジェクトを確保すべく営業を展開し、現時点で、10件程度(合計約20MW)の太陽光発電プロジェクトを確保できる見込みができました。このため、当第3四半期連結会計期間のアレンジメント業務を中心とする投資銀行業務による収益計上は限定的でありましたが、第4四半期以降の収益源を確保するに至りました。

企業投資においては、企業投資ファンドからの投資回収による売上を計上しました。FGFへの投資については、FGFにおいて平成26年10月に投資先エグジットがあったものの、減損した投資先企業もあったため、営業投資有価証券評価損を計上しました。営業投資有価証券の残高は、FGFにおいて追加投資、為替差益による増加があったものの、分配金受領、営業投資有価証券評価損による減少があったことや、㈱ムーミン物語が連結子会社となり、当社単体決算では同社株式が関係会社株式となったことにより、前連結会計年度末に比べ216百万円減少し、2,102百万円となりました。

アセットマネジメント業務においては、企業投資ファンドの受託資産残高がファンド期間終了に向けてが減少した影響で、受託資産残高は前連結会計年度末から1,246百万円減少し6,082百万円となりました。しかしながら、フィンテックアセットマネジメント㈱( FAM)が平成27年3月18日付で、不動産特定共同事業法第2条第4項第3号に係る業務(不特法第3号事業)を行うことについて、金融庁及び国土交通省より許可を受けたことにより、FAMは地方都市においてサービス付き高齢者向け住宅を所有する特別目的会社から不特法第3号事業を受託するとともに、当社は当該スキーム構築支援に係るアレンジメント業務を受託するなど、地域密着で地元事業者のニーズにあった案件を推進しております。今後、同様の取組みを増やしていく方針であり、第4四半期も複数のサービス付き高齢者向け住宅のアレンジメント等の受託を見込んでおります。

このように当第3四半期連結累計期間の投資銀行事業は、業務受託による手数料収入が増加したものの、前第3四半期連結累計期間においては当社グループが出資する投資事業組合から大型の投資回収(売上高及び営業利益で12億円)があったため、売上高は785百万円(前年同期比48.4%減)、営業利益は542百万円(前年同期比57.5%減)となり、前年同期比ではそれぞれ減少しました。

## ②不動産事業

㈱ベルスは、持家支援サービスにおいて分譲物件の引渡しが増加し、紹介料売上が計画を上回りました。また、30万人規模の会員組織への持家支援サービス等の提供も決定しております。進捗が遅れていた不動産事業(仕入れ・販売)は、平成27年5月に不動産事業用地を仕入れるにいたっておりますが、㈱ベルスは6月30日が決算日であり、当第3四半期連結累計期間は同社の平成26年7月1日から平成27年3月31日までの業績を連結に取込んでいるため、当第3四半期末の四半期連結貸借対照表には販売用不動産として計上されておられません。なお、㈱ベルスは当社に決算期を合わせるため決算日を6月30日から9月30日に変更しております。

ベターライフハウス㈱等の不動産販売業務は、第2四半期から建築を開始した戸建住宅が当第3四半期に最初の竣工を迎えました。当第3四半期連結会計期間に入り販売用不動産の売上が伸長しております。

㈱ユニハウスの不動産仲介業務は苦戦気味でありましたが、成約率向上を企図した職域ネット展開を強化しており、大手企業や官公庁などに職域提携を増加させるため、法人営業を強化するとともに、物件紹介のためのウェブサイトの新規改訂等の各種施策を展開しました。

不動産事業の売上高については、前第2四半期連結累計期間までは㈱ベルスのみを連結の範囲に含んでいたため、前年同期比では279.5%増加し2,213百万円となりましたが、営業損失は45百万円(前年同期は15百万円の損失)となりました。

## ③建設事業

当社は、建設事業を行う岡山建設㈱の全所有株式を平成27年5月1日に譲渡しており、同社を当第3四半期連結会計期間期首より連結の範囲から除外しております。このため、第2四半期連結累計期間から業績の進捗はなく、建設事業の売上高は423百万円(前年同期比30.2%減)、営業損失は0百万円(前年同期は7百万円の損失)となりました。

## ④その他

当社は、第2四半期連結会計期間より投資先企業の㈱ムーミン物語及び非連結子会社の㈱アダコテックについて重要性が増したことにより、それぞれ当社の連結の範囲に含めております。

㈱ムーミン物語は、北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設であるメツァ (Metsä) を開設するため、当施設のコンセプト、コンテンツの検討を当社とともに進めました。

㈱アダコテックは、画像・音声・振動・センサ信号などからの各種パターン認識及び異常監視・予兆検知システムのソフトウェア開発・販売を行っておりますが、製品の製造工程や防犯、医療・介護等の多様な分野への応用が期待されております。運輸・旅客業界に対しては、旅客や車両の安全を確保するための取組みとして実証実験を進めており、また大手IPカメラメーカー製品向けに、より汎用的に検知機能を使っていただくため、PCレスでの運用を可能とする取組みを進めるなど、大手企業から引合いが増加しております。

なお当社は、公会計コンサルティング事業を行う㈱パブリック・マネジメント・コンサルティング（以下、「PMC」といいます。）の株式の一部を、一般社団法人地方公会計研究センターに譲渡したことにより、PMCに対する当社の持株比率は48.7%となり、第1四半期連結会計期間末にPMCを当社の連結の範囲から除外しております。

これらの結果、その他の売上高は34百万円（前年同期比37.1%減）営業損失は74百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における岡山建設㈱の連結除外、新株予約権の発行・行使による資金調達、不動産事業における用地買収や戸建住宅の建築の進行及びそれに伴う借入金の増加を反映し、下記のような財政状態となりました。

### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,601百万円（前連結会計年度末比28.8%増）となりました。これは、主として、現金及び預金が1,635百万円、販売用不動産が451百万円、仕掛販売用不動産が423百万円、有形固定資産が193百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が109百万円、完成工事未収入金が247百万円、営業投資有価証券が216百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は3,311百万円（前連結会計年度末比72.7%増）となりました。これは主として、短期借入金が686百万円、1年内返済予定の長期借入金が145百万円、長期借入金が187百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が242百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,289百万円（前連結会計年度末比13.6%増）となりました。これは主として、新株予約権の行使により資本金が509百万円、資本剰余金が509百万円増加したものの、四半期純損失の計上等により利益剰余金が272百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、平成27年5月13日に公表いたしました当連結会計年度の業績予想に対して進捗は遅れておりますが、当第3四半期決算発表時点においては、業績予想を修正しておりません。下記の投資先の状況や施策の実施により、業績予想は達成可能な範囲にあると考えており、施策の成就に邁進して参ります。

### ①優良な太陽光発電プロジェクトの投資家等への売却又はアレンジメント業務受託

当社グループは、当第3四半期連結会計期間にアレンジメント業務の対象である太陽光発電事業の環境の変化に対応して、優良プロジェクトを確保すべく営業活動を展開しており、現時点で10件程度（合計約20MW）の太陽光発電事業に係る優良プロジェクトを確保できる見込みが立ち、現在その売却活動やアレンジメント業務を展開しております。これらのプロジェクトに関しては、固定価格買取制度における買取価格が引下げられる前の平成24年度に認定されたプロジェクトや、有力な投資家候補者がいるプロジェクトなどがありますが、これらのプロジェクトの売却やアレンジメント業務受託による売上を見込んでおります。

### ②FinTech GIMV Fund, L.P. (FGF)の大型投資案件のエグジットによる収益計上

当社は、FGFの大型投資案件のエグジット（投資回収）による分配金5.8百万米ドルを平成27年6月に受領しております。FGFは、四半期毎に決算書を交付しており、このエグジットに係る収益・費用が計上される予定であるFGFの平成27年12月期第2四半期の決算書を当社が受領する時期は、平成27年9月頃と見込んでおります。FGFが交付する当該決算書には、今回の大型投資案件のエグジットによる収益費用のほか、他の投資先の出資に係る収

益・費用やFGFの運営費用も計上されるため、当社としての損益計上額は当該決算書を受領するまで未確定であります。当該決算書を入手することにより、当社の平成27年9月期連結決算にFGFの損益を取込む予定であります。今回のFGFの大型投資案件の投資倍率は約4倍であったため、当該決算書数値を取込むことによる相応の売上高の計上を見込んでおります。

③不動産事業における戸建住宅販売の本格化

前連結会計年度の不動産会社の株式取得による子会社化以後、戸建住宅販売の計画を進めてきましたが、平成27年5月に最初の戸建住宅が竣工しており、現在、販売活動に注力しております。第3四半期末の販売用不動産は673百万円、仕掛販売用不動産は1,032百万円となっており、当連結会計年度にこれらの販売が順調に進むことによる連結業績への貢献を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、フィンテックグローバルトレーディング株式会社、株式会社アダコテック、及び株式会社ムーミン物語は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

また、当社は、岡山建設㈱の全所有株式を平成27年5月1日に売却しました。これにより、当第3四半期連結会計期間期首において、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

|             | 前連結会計年度<br>(平成26年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成27年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                         |                              |
| <b>流動資産</b> |                         |                              |
| 現金及び預金      | 2,034,917               | 3,670,646                    |
| 受取手形及び売掛金   | 255,142                 | 145,617                      |
| 完成工事未収入金    | 247,275                 | —                            |
| 営業投資有価証券    | 2,319,357               | 2,102,513                    |
| 営業貸付金       | 857,021                 | 762,732                      |
| 販売用不動産      | 221,332                 | 673,301                      |
| 仕掛販売用不動産    | 609,460                 | 1,032,734                    |
| 未成工事支出金     | 2,387                   | —                            |
| 繰延税金資産      | 4,176                   | 2,133                        |
| その他         | 324,956                 | 578,281                      |
| 貸倒引当金       | △284,028                | △233,293                     |
| 流動資産合計      | 6,591,999               | 8,734,666                    |
| <b>固定資産</b> |                         |                              |
| 有形固定資産      | 121,373                 | 315,014                      |
| 無形固定資産      |                         |                              |
| のれん         | 151,714                 | 119,167                      |
| その他         | 12,617                  | 36,235                       |
| 無形固定資産合計    | 164,331                 | 155,403                      |
| 投資その他の資産    |                         |                              |
| 投資有価証券      | 128,614                 | 91,952                       |
| その他         | 445,927                 | 304,006                      |
| 投資その他の資産合計  | 574,541                 | 395,959                      |
| 固定資産合計      | 860,247                 | 866,376                      |
| 資産合計        | 7,452,246               | 9,601,043                    |



(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成26年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 254,826                 | 11,987                       |
| 工事未払金         | 65,396                  | —                            |
| 短期借入金         | 628,100                 | 1,314,845                    |
| 1年内償還予定の社債    | 16,000                  | 46,000                       |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 13,068                  | 158,552                      |
| 未払法人税等        | 31,466                  | 22,250                       |
| 未成工事受入金       | 55,867                  | —                            |
| 賞与引当金         | 32,083                  | 26,234                       |
| その他           | 362,717                 | 1,035,249                    |
| 流動負債合計        | 1,459,524               | 2,615,119                    |
| 固定負債          |                         |                              |
| 社債            | 24,000                  | 121,000                      |
| 長期借入金         | 226,591                 | 413,930                      |
| 退職給付に係る負債     | 148,926                 | 114,250                      |
| 繰延税金負債        | 45,797                  | 35,172                       |
| その他           | 12,562                  | 12,213                       |
| 固定負債合計        | 457,877                 | 696,566                      |
| 負債合計          | 1,917,402               | 3,311,686                    |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 3,351,561               | 3,860,918                    |
| 資本剰余金         | 929,373                 | 1,438,730                    |
| 利益剰余金         | 1,226,803               | 954,587                      |
| 株主資本合計        | 5,507,738               | 6,254,236                    |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| その他有価証券評価差額金  | △573                    | △42,292                      |
| その他の包括利益累計額合計 | △573                    | △42,292                      |
| 新株予約権         | 4,168                   | 21,784                       |
| 少数株主持分        | 23,510                  | 55,628                       |
| 純資産合計         | 5,534,844               | 6,289,357                    |
| 負債純資産合計       | 7,452,246               | 9,601,043                    |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

|   | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年10月1日<br>至平成26年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成26年10月1日<br>至平成27年6月30日) |
|---|--|--|
| 売上高                                     | 2,756,648                                    | 3,445,881                                    |
| 売上原価                                    | 771,082                                      | 2,066,561                                    |
| 売上総利益                                   | 1,985,565                                    | 1,379,319                                    |
| 販売費及び一般管理費                              | 1,321,594                                    | 1,660,978                                    |
| 営業利益又は営業損失(△)                           | 663,970                                      | △281,658                                     |
| 営業外収益                                   |  |  |
| 受取利息                                    | 983  | 6,792  |
| 持分法による投資利益                              | 72   | 4,459  |
| 為替差益                                    | 49,686                                       | 166,560                                      |
| その他                                     | 5,410  | 32,922                                       |
| 営業外収益合計                                 | 56,152                                       | 210,734                                      |
| 営業外費用                                   |  |  |
| 支払利息                                    | 2,770  | 19,383                                       |
| その他                                     | 7,984  | 10,294                                       |
| 営業外費用合計                                 | 10,755                                       | 29,677                                       |
| 経常利益又は経常損失(△)                           | 709,368                                      | △100,601                                     |
| 特別利益                                    |  |  |
| 固定資産売却益                                 | —  | 13,206                                       |
| 負ののれん発生益                                | 178,062                                      | —  |
| 関係会社株式売却益                               | —  | 10,520                                       |
| その他                                     | 137  | 203  |
| 特別利益合計                                  | 178,200                                      | 23,930                                       |
| 特別損失                                    |  |  |
| 関係会社株式売却損                               | —  | 737  |
| 関係会社株式評価損                               | 2,127  | —  |
| 関係会社整理損失引当金繰入額                          | 7,023  | —  |
| 固定資産除却損                                 | —  | 542  |
| 投資有価証券評価損                               | —  | 1,000  |
| 特別退職金                                   | 4,033  | —  |
| 特別損失合計                                  | 13,184                                       | 2,280  |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前<br>四半期純損失(△)       | 874,383                                      | △78,951                                      |
| 法人税、住民税及び事業税                            | 19,870                                       | 26,941                                       |
| 法人税等調整額                                 | △13,348                                      | △8,581                                       |
| 法人税等合計                                  | 6,521  | 18,359                                       |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株<br>主損益調整前四半期純損失(△) | 867,862                                      | △97,310                                      |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△)                       | 6,275  | △9,327                                       |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)                       | 861,586                                      | △87,982                                      |

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

|                                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年10月1日<br>至平成26年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成26年10月1日<br>至平成27年6月30日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 867,862                                      | △97,310                                      |
| その他の包括利益                            |  |  |
| その他有価証券評価差額金                        | △1,298                                       | △41,718                                      |
| その他の包括利益合計                          | △1,298                                       | △41,718                                      |
| 四半期包括利益                             | 866,563                                      | △139,028                                     |
| (内訳)                                |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益                     | 860,288                                      | △129,700                                     |
| 少数株主に係る四半期包括利益                      | 6,275  | △9,327                                       |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が509,356千円、資本準備金が509,356千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,860,918千円、資本剰余金が1,438,730千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                   | 報告セグメント    |         |         |           | その他<br>(注) 1 | 合計        | 調整額<br>(注) 2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額 |
|-------------------|------------|---------|---------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------------------|
|                   | 投資銀行<br>事業 | 不動産事業   | 建設事業    | 計         |              |           |              |                       |
| 売上高               |            |         |         |           |              |           |              |                       |
| 外部顧客への売上高         | 1,514,088  | 583,341 | 606,593 | 2,704,023 | 52,624       | 2,756,648 | —            | 2,756,648             |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 8,203      | —       | —       | 8,203     | 2,750        | 10,953    | △10,953      | —                     |
| 計                 | 1,522,291  | 583,341 | 606,593 | 2,712,226 | 55,374       | 2,767,601 | △10,953      | 2,756,648             |
| セグメント利益又は損失(△)    | 1,277,851  | △15,736 | △7,677  | 1,254,437 | △14,975      | 1,239,461 | △575,490     | 663,970               |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社が行っている公会計コンサルティング事業、再保険事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△575,490千円には、セグメント間取引消去82,081千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△657,572千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

建設事業のセグメントにおいて、連結子会社であった岡山建設ホールディングス(株)が、平成26年2月28日に岡山建設(株)の株式を取得し連結子会社化したことで、当第3四半期連結累計期間に、負ののれん発生益178,062千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                   | 報告セグメント    |           |         |           | その他<br>(注) 1 | 合計        | 調整額<br>(注) 2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額 |
|-------------------|------------|-----------|---------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------------------|
|                   | 投資銀行<br>事業 | 不動産事業     | 建設事業    | 計         |              |           |              |                       |
| 売上高               |            |           |         |           |              |           |              |                       |
| 外部顧客への売上高         | 777,394    | 2,212,992 | 423,366 | 3,413,753 | 32,127       | 3,445,881 | —            | 3,445,881             |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 7,781      | 608       | —       | 8,389     | 2,700        | 11,089    | △11,089      | —                     |
| 計                 | 785,176    | 2,213,600 | 423,366 | 3,422,143 | 34,827       | 3,456,971 | △11,089      | 3,445,881             |
| セグメント利益又は損失(△)    | 542,853    | △45,161   | △530    | 497,162   | △74,153      | 423,008   | △704,666     | △281,658              |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社が行っている公会計コンサルティング事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△704,666千円には、セグメント間取引消去76,097千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△780,764千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。